

歯学部附属歯科技工専門学校  
令和5年度自己点検・評価及び学校関係者評価票

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
<p>評価項目① 人材育成の達成を目的とした指導方針の統一, 情報共有ができていますか。</p>	<p>1 現状説明 指導方針の統一として, 歯科技工士国家試験出題基準にのっとった指導を講義担当者, 実習担当の非常勤講師が行っている。また, 毎月(8月除く)行われる教員会及び月に数回行われている専任教員と専門学校事務室との連絡会等で学生の近況を共有している。</p> <p>2 長所・特徴 毎月(8月除く)行われている教員会及び月に数回行われている専任教員と専門学校事務室との連絡会等で個々の学生の状況を把握できるため, 複数の教員で学生の対応ができ, 指導方針等を校長, 教務主任と相談し計画を立案している。</p> <p>3 問題点 学習意欲の低下や体調不良による欠席者の対応に苦慮している。</p> <p>4 全体まとめ 歯科技工士国家試験の合格率を上げるためにも, 学生と教員, 専任教員と非常勤講師が情報を共有し, 学生に統一した知識で指導し, 学生が学べるような環境づくりを行う。 学生と教員のコミュニケーションは必要不可欠である。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の状態を教員がよく把握している。</li> <li>・教員同士の意思の疎通がなされており, 学生に対して統一された指導ができています。</li> <li>・次の世代を担う人材の育成において, 教員間のコミュニケーションを密にして, 指導方針の統一, 情報の共有は大変重要である。</li> <li>・最終目標である歯科技工士国家試験の出題基準にのっとり, 教員間での指導方針の統一は, 学生の質の向上につながる。また, 教員間での情報の共有では, 学校教育が支障なく実施されるよう報告, 連絡, 相談を密に行うことが重要である。</li> <li>・指導方針の統一と歯科技工士国家試験の出題基準にのっとった指導を行っている点, 学生一人一人に対する細やかな注意とサポートを評価したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も情報共有を怠らずに学生の近況を把握し指導を継続していただきたい。</li> <li>・指導方針の統一, 情報の共有については, 引き続き継続することを希望する。</li> <li>・学生と教員, さらには専任教員と非常勤講師間のコミュニケーションの必要性と, それによって指導方針が統一された教育環境の構築が強調されている。これは, 教育の質を高め, 国家試験の合格率向上に貢献する重要な要素だと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験の合格率が低下しているように見受けられる。合格率を上げるべく, 方法を検討すべき時期ではないか。</li> <li>・指導方針の統一を学生に浸透させるためにも教員と学生の信頼関係を構築することが重要である。また, クラス担任は, 学生が教員に話しやすくなるようなクラス全体の雰囲気づくりが大切である。</li> <li>・学生の学習意欲の低下や健康問題に対応するための追加の方策の開発, カウンセリングサービスの強化, 柔軟な学習オプションの提供, 導入等が必要だと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が学生に対して見放さない気持ちを忘れずに粘り強く学生指導に当たることを期待する。</li> </ul>	B

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
<p>評価項目② 個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。</p>	<p>1 現状説明 入学手続の際, 「個人情報の取扱いに関する同意書」をもって取得した個人情報は, 専門学校事務室倉庫内の金庫又は施錠できるキャビネット等で管理している。 日本大学個人情報取扱規程に基づき, 毎年定期報告として, 管理場所や個人情報の提供の有無等報告している。 新入生オリエンテーションにおいて, 学校の機密情報や個人情報等を紛失した際の影響や社会的責任について説明している。</p> <p>2 長所・特徴 データにパスワードを設定することにより, セキュリティを高めている。個人情報を取り扱う者の人数が少ない。</p> <p>3 問題点 保管場所の確保に苦慮している。</p> <p>4 全体まとめ 学生への連絡は, NU メールを使用している。また, 名簿, 成績表等書類を取り扱う場合は, データにパスワードを設定するようにしている。 教員室や専門学校事務室において機密情報や個人情報等が書かれた書類等の取扱いについては十分注意を払うよう周知・徹底している。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本大学における個人情報の取扱いに関するガイドライン及び日本大学歯学部における個人情報の取扱内規ののっとり, 個人情報の管理がなされている。</li> <li>総じて, 個人情報の保護, 保管場所の確保等の対応は評価する。個人情報の管理とセキュリティの継続的な強化は, 学校の信頼性と責任を維持する上で重要な要素となるので評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでどおり規程に沿った方法で管理していただきたい。</li> <li>個人情報のデータにパスワードを付けることは評価できる。</li> <li>金庫や施錠可能なキャビネットを使用していること及び日本大学個人情報取扱規程に基づいて管理していることは, 個人情報保護のための適切な措置として高く評価する。また, 新入生オリエンテーションでの機密情報と個人情報の重要性に関する教育も, 意識を高め, 社会的な責任感の意識付けに寄与していると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報が漏えいしないように細心の注意をお願いしたい。</li> <li>保管場所の確保という課題は, 個人情報管理の重要な側面であり追加の保管スペースやセキュリティ対策の必要性に対応するための提案が必要ではないか。</li> </ul>	特になし	A

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明、長所・特色、問題点、全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点、継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
評価項目③ 関連分野の企業・関係施設等 や業界団体等との連携によ り、カリキュラムの作成・見 直し等が行われているか。	1 現状説明 歯学部附属という利点を生かし、臨 床研修の歯科医師向けに開催される企 業でのセミナーへの参加や日本大学歯 学部附属歯科病院での臨床見学を行え る環境にある。カリキュラムは、定期 的に見直しを行い、専門職としての意 識と責任を高めることを目的とし、業 界で活躍している非常勤講師による講 義を行っている。また、日本歯科技工 士会、日本歯科技工学会における学生 向けの会員制度等を積極的に利用し て、講演や学生コンテストに参加して いる。 2 長所・特徴 歯学部附属の専門学校という特徴が あり、臨床の現場を見学できる機会も 多い。また、臨床研修の歯科医師向け のセミナーに参加でき、企業等で最新 の設備を見学できる。授業では、経験 豊富な非常勤講師の様々な技術と知識 に触れることで、将来の進路決定に役 立ち、広い視野を持った人材の育成が 期待できる。 3 問題点 夜間課程のため授業時間中は、企業、 関連施設等が就業時間外である。その ため関連企業、業界団体等との連携を カリキュラム中に導入するのは困難で あり検討の余地がある。 4 全体まとめ 現状を継続しつつ、関連施設等との 連携については、「歯科技工実習A」の 科目時間帯を有効活用するなどの対応 を検討する。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間課程であるため、限られた時間の中でカリキュラムを工夫していることが見受けられる。</li> <li>歯学部附属の専門学校である特徴を期待して入学する学生もおり、日本大学歯学部附属歯科病院での臨床見学、企業のセミナーへの参加及び歯科技工士会、歯科技工学会等の参加は、歯科技工士への興味・動機付けになるので引き続き推進すべきである。</li> <li>歯学部附属の専門学校としての特徴を生かし、企業セミナーや日本大学歯学部附属歯科病院での臨床見学の機会を提供していることは、学生に実践的な経験と知識を提供するよい手段として評価する。また、業界団体との連携を通じて学生に講演やコンテストへの参加機会を提供している点も、学生の学習体験の豊かになるものとして肯定される可能性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業見学や歯学部附属の利点を生かした臨床見学を継続してほしい。</li> <li>歯科関連企業及び業界団体との連携等、学校として積極的に動いているので評価できる。</li> <li>業界で活躍する経験豊富な非常勤講師を招へいし、講義を行っていることは、学生に実践的な知識と技術を提供し、広い視野を持った人材を育成する上で重要な役割を果たしているとして評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業見学等を通じて知識を養い将来的に見識のある歯科技工士として幅広い分野での活躍が期待できる人材育成の基礎を築き上げていただきたい。</li> <li>夜間課程である特徴にこだわらずに柔軟に物事を考えて、歯科関連企業及び歯科業界団体との連携には、校外学習としてカリキュラムに組み入れることを期待する。</li> <li>現在の連携の強化とカリキュラム中の連携の拡大に向けた具体的な提案や改善を行うことにより、学生により広範な学習体験を提供し、業界との連携を更に深めることができることを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本大学歯学部附属歯科病院・企業見学・技工室見学を通して技工士として今後の在り方を学んでほしい。</li> </ul>	A

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
評価項目④(重点目標) 学生募集活動は適正に行われ ているか。	<p>1 現状説明 高等学校訪問を継続し, 募集活動を行っている。令和5年度入学者の状況は16名中14名が社会人である。入学者の状況から社会人への募集活動は必須であるため, 令和5年度入学選抜から社会人選抜・自己推薦選抜を実施した。</p> <p>2 長所・特徴 都内唯一の夜間課程であり, 働きながら通えるという特徴がある。 令和5年度には社会人選抜・自己推薦選抜を再導入し, 実施時期を遅くしたことでちゅうちょしていた社会人受験生が受験できる機会を設けている。</p> <p>3 問題点 他の専門学校と比較すると入学者選抜の実施回数が少ない。保護者や高等学校の進路指導関係者においては夜間課程の学校は推奨されにくい傾向にある。</p> <p>4 全体まとめ 18歳人口が減少する中, 社会人への募集活動は必須である。夜間課程という特徴は, 働きながら通えるという点で社会人にとって大きな利点である。受験生に配慮した受験の機会を増やすことを検討する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度, 学校訪問に力を入れたことにより入学者が増加した実績があるので, 今後も高等学校への訪問に力を入れることが望ましい。</li> <li>少子高齢化が進む現在, 歯科医療の一端を担う歯科技工士の育成は重要であると思われる。</li> <li>全国歯科技工士養成所の入学者は, 10年前の平成26年度には1,359名, 令和5年度には736名と大幅な減少となっている。将来, 歯科技工を生業とする人材の減少が懸念される。</li> <li>高等学校への訪問を継続する取組は重要である。しかし, 入学者の大部分が社会人であることを考えると, このアプローチが現在の入学者層に最適かどうか再評価する必要があると思われる。</li> </ul> <p>夜間課程という特徴を生かし, 社会人にとっての大きな利点を前面に出すことは, 募集活動の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人選抜・自己推薦選抜を再導入したことは, 夜間課程の特徴が生かされるので継続していくことを期待する。</li> <li>高等学校訪問を継続していくことや夜間課程という特徴を生かし, 社会人にとっての大きな利点を前面に出すことは, 募集活動の効果を高めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人に対しアピールする方法は非常に難しいことと思われるが, 方法を検討していただきたい。</li> <li>令和6年度入学者選抜では, 一般選抜は3回, 社会人選抜・自己推薦選抜は1回実施となっているが, 選抜回数が少ない。受験の機会をもっと増やし, 一人でも多く入学者を増やすことを期待する。</li> <li>受験機会の増加や受験生のニーズに応じた柔軟なアプローチは, 募集活動の効果を高めるためにも重要である。</li> </ul>	<p>・年々歯科技工士を志す人が減っており, 技工業界だけではなく歯科医療にも大きな影響が出てくるのではないかと危機感を抱いている。</p>	B

(様式2)

令和5年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
評価項目④ (重点目標) 学生募集活動は適正に行われ ているか。			効果を高める。受験 機会の増加や受験 生のニーズに応じ た柔軟なアプロー チは, 募集活動の効 果を高めるためにも 重要である。				